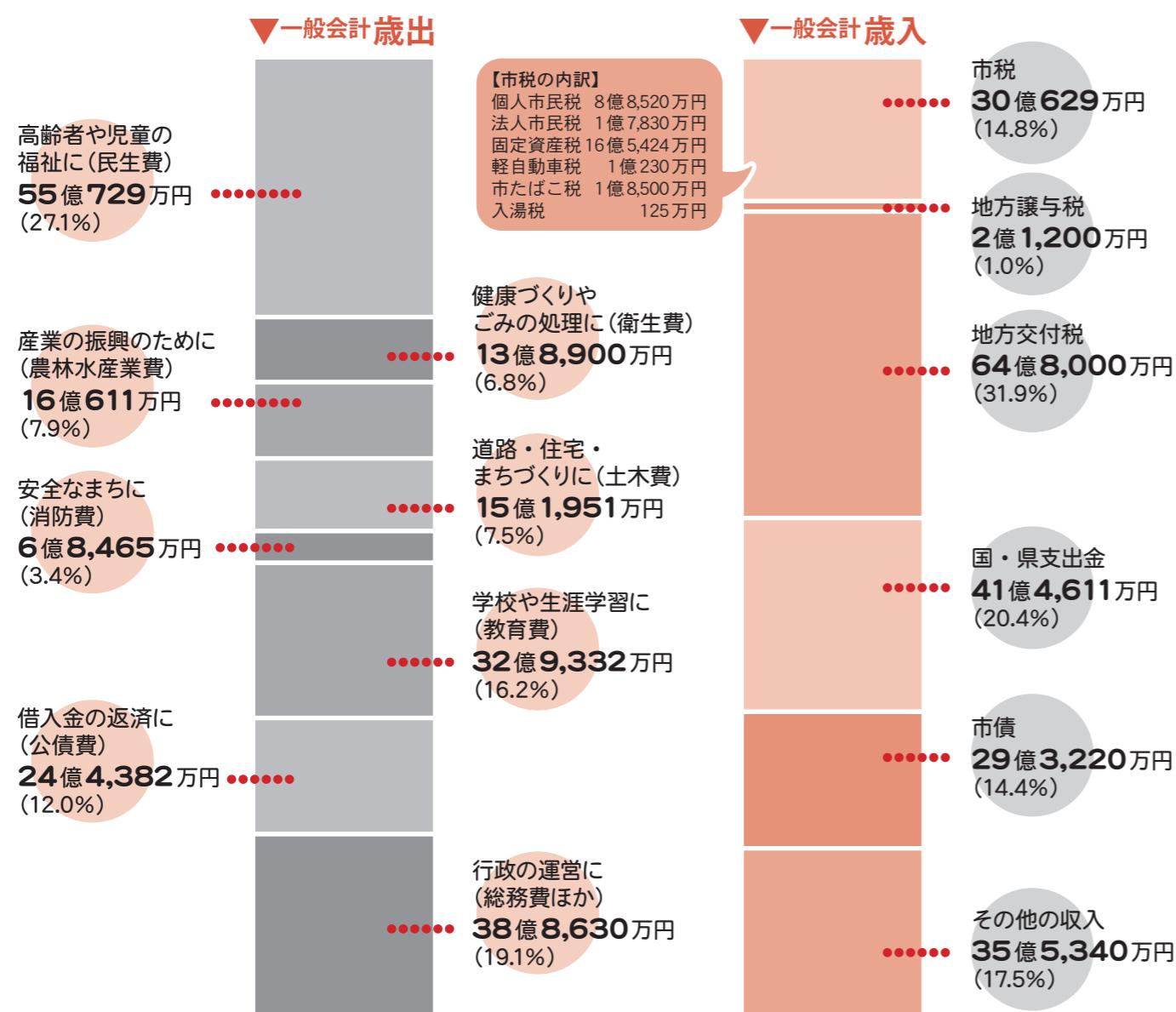


一般会計総額 203億円



特別会計 総額約106億円

国民健康保険	47億6,770万円
後期高齢者医療保険	3億7,705万円
介護保険	36億7,202万円
地域包括支援センター事業	5,097万円
簡易水道事業	2億2,928万円
農業集落排水事業	1億8,360万円
公共下水道事業	10億6,041万円
特定環境保全公共下水道事業	2億968万円

公営企業会計 総額約36億円

水道事業	収益的支出	3億8,243万円
	資本的支出	2億8,813万円
工業用水道事業	収益的支出	1,677万円
	資本的支出	1,342万円
山香病院事業	収益的支出	27億5,697万円
	資本的支出	1億8,668万円

※数値は広報誌用に端数を処理しているため、合計などに差が出る場合があります。

歳入

市税収入：地域経済の回復基調から法人市民税や固定資産税の増が見込まれ、前年度比約3・3%増としました。

地方交付税：合併算定替から一本算定への移行等を考慮し、前年度より2・6%減としました。

国・県支出金：（国庫支出金）は年金生活者支援臨時福祉給付金や児童手当の減少等により1・9%の減（県支出金）は放課後児童健全育成事業や沿岸漁業経営構造改善事業の増加等により11・0%増としました。

歳出

寄附金：個人と企業版のふるさと納税が増加していることから、2・8%増としました。

市債：杵築中学校および市立図書館建設等により、前年と比べ64・2%増加しました。

保健・医療・福祉の充実：子ども医療費の保護者負担を軽減するため、これまでの未就学児の医療費完全無料化を小中学生まで拡大する事業として9505万円を計上。また、杵築市民の3人に1人が高血圧で治療している現状を踏まえ、市民・飲食店・行政が一体となって減塩対策に取組むため、296万円を計上しました。

地方創生：平成28年度に引き続き、移住定住や健康づくり、新規創業への支援や人材育成に加え、杵築ブランドの推進力となりました。

特別会計：公共下水道事業が雨水ポンプ場の新設工事などにより21・1%の増となっています。

住みよいまちづくりのために、社会基盤の整備や子育て支援の充実、多方面に事業を展開し地方創生を図ります。

29年度予算編成のキーワードは

「前進」「協働」